

平成21年度 世羅町立大田小学校 自己評価表（年度末評価）

1 経営理念 【教育目標】

大きな夢をもち、心豊かにたくましく生きる子どもの育成
 —歴史と伝統を引き継ぎながら、子どもたちにしっかりとした学力（知・徳・体）を身につけさせます— <継承と発展>

めざす子ども { ○あいさつ …生活の基本
 めざす教職員 { ○姿勢（学習規律、服装） …学ぶ基本
 めざす学校 { ○一生懸命 …生き方の基本

担当分掌 知=知の推進部(研修) 徳=徳の推進部
 体=体の推進部 生活=生活指導部
 教務=教務部

2 学校評価表

平成22年2月23日

評価計画				自己評価						学校関係者評価			改善計画				
b 中期経営目標	c 短期経営目標	d 目標達成のための方策	担当分掌	e 評価指標	f 目標値	7月	1月	h 達成度	i 評価	j 結果と課題の説明	k 二次評価			l コメント	m 改善案		
						g 達成	g 達成				イ	ロ	ハ				
知	◎基礎学力の徹底を図ります。	◎国語・算数の学習内容定着の徹底を図る。	・国語・算数の基礎・基本の定着のため毎日宿題を出し、やりきらせる。 ・チャレンジタイムで言語活動、漢字の読み書き、計算を全クラスで確実に実施する。	知	学期末テストの全国平均点より高い児童	75	71.4	72.7	97	B	全国平均を上回った児童の割合は、国語科73.6%、算数科71.8%で、平均すると72.7%となり、目標値に達しなかった。	3		特になし	・引き続き、宿題をやりきらせたり、チャレンジタイムで基礎・基本の内容の問題を解かせたりすることで、基礎学力定着をはかる。 ・チャレンジタイムの内容の充実をはかる。（視写を取り入れ、読むスピード・書くスピードをつける） ・宿題の内容を改善し、現在学習している内容と以前学習した内容を復習できるようにする。		
	◎ことばの力、論理的思考力を育てます。	○授業の中で考えを書く活動を取り入れ、考える力を高める。	・授業の中で、ねらいをもった「書く」活動を全学級で実践する。	知	自力解決の記述内容レベルが3の児童を7割にする(担任評価)	70	45.6	81.5	116	A	「自力解決」(変更)の記述レベルが3(根拠をもとに考えを書ける)の児童数が、7月98人から1月176人に増加している。	3		特になし	・引き続き、授業で書く活動を取り入れていく。 ・根拠を叙述を基に書いたり、図や式や言葉を使って書いたりする活動を多く取り入れていく。		
	◎外国語活動を推進します。	○外国語を使って関わりあい、コミュニケーション能力の育成を図る。	・HRTが主となって進める授業を増やし、他者と関わる活動を支援する。	知	「恥ずかしがらずに英会話ができた」と答える児童を増やす。(1学期との比較)	比較		76.0	95	B	1学期末 79.8%から1月76.0%に減少している。	1	1	1	特になし	・担任が毎月第3時間目の授業を主に担当することを徹底し、恥ずかしがらずに英会話ができる児童を増やす。	
	◎学習規律と家庭学習の定着を図ります。	○学習規律をつける。(話の内容を理解し、反応して聞く。)	・朝会や授業で聞いた内容を復唱させる。	知	聞き取りテストの全国平均点より高い児童	70	81.6	72.6	104	A	73%で目標値を上回ったが、1学期よりは下がった。	1	1	1	特になし	・引き続き、先生や友達と話したことを復唱する取り組みを続ける。 ・朝会で聞いた話を紙に書く活動を取り入れる。来年度は姿勢を正して話を聞くことを再度徹底する。	
徳	◎表現活動を充実させ、感性豊かな子どもを育てます。	○自分の思いを堂々と表現できる子どもを育成する。	・表情や歌い方のレベルを示して、常に意識させる。	徳	「レベル3」の児童(口・目を大きくあける)	80	26.0	29.3	37	D	レベル3の児童が、29.3%と低かった。「ふっより大きな口をあけて歌う。」(レベル2)の児童が多い。	1	1	1	特になし	・めざす姿をイメージさせるために、継続して表現朝会で児童に歌い方のレベルについて具体的に話したり、レベル3の児童をみんな前で歌わせたりする。 ・学級の指導の際に、歌い方レベルをもとに肯定的評価をし、常に子どもに意識させる。	
	◎夢を持ち、一生懸命取り組む子どもを育てます。	○地域を知り、地域に親しみ、地域のために行動する子どもの育成をする。	・道徳の時間に各学年で地域についての教材開発や見直しを行い実践する。	徳	「地域が好き」「夢を持っている」という児童	80	90.4	90.8	114	A	「夢をもっている」の割合 91.9% 「地域が好き」の割合 89.7% どちらも目標値を上回ったが、1学期よりは下がった。	2	1		特になし	・今後も継続的に道徳の時間に地域教材を扱ったり、総合的な学習の時間等で地域の人に来ていただいたりして、地域のよさを児童に伝え、地域に親しみをもつ児童を増やすよう取り組む。	
体	◎体力づくりに取り組みます。	○しなやかな体をつくる。(柔軟性・持久力の向上)	・体育の時間に柔軟性を高める運動を取り入れる。	体	記録が向上した児童(1学期との比較)	80		66.3	83	B	記録を向上させた児童が約66%にとどまり、目標値を達成できなかった。	3		特になし	・ジョギングが日課の中に位置付けられているが、この時間をきちんと確保して継続して取り組むようにしたらい。 (例えば大休憩を40分にして、身体を動かす時間を必ず位置付ける等)	・3学期からがんばりカードを活用して、家庭でも取り組みを行ったが、今後も月1回程度の強化週間を継続的にを行い、より一層の柔軟性の向上を図っていく。	
	◎食育の推進を図ります。	○「食」に対する意識を高める。	・記録カードや認定証を取り入れて、ジョギングを継続的に行う。 ・朝会や授業等の実践及び研修を進める。	体	記録が向上した児童(1学期との比較) 給食を残さず食べる児童	70	84.1	86.6	124	A	学校の給食は86.6%の児童がおおむね残さず食べ、約2%の上昇が見られた。低かった家庭での割合も、71.3%の児童がおおむね残さず食べ、約7%の上昇が見られた。	3		特になし	・必要の遊具・施設は要求していくことも大切。 ・保護者啓発をして、家庭でも食について考えてもらおうとよい。		
信頼される学校	◎挨拶のできる子を育てます。	○顔を見て、はっきり笑顔であいさつをする。	・学校や学級の目標にする。 ・児童会役員が主体となり、あいさつ運動をする。	生活	最高レベルのあいさつ(1~5年レベル3、6年レベル4以上)	70	54.4	46.0	66	C	最高レベルのあいさつは46%にとどまり目標値を達成できなかった。	1	2		特になし	・あいさつを地域に広げていく活動を行うとよい。校外での評価はできないだろうが、児童以外の評価があってもよい。	・児童会でのあいさつ運動の取り組みや、あいさつをがんばっている子どもへの評価などを適切に行っていく。また、職員の意識統一を図っていきたい。
	◎大田小学校の伝統をさらに高めます。	○そうじを時間いっぱいだまて行う。	・そうじの取り組みを学校の月目標や学級の目標にする。 ・掃除に対する児童・職員の意識を統一する。(掃除強化週間の実施など)	生活	肯定的評価の児童	90	80.3	74.2	82	B	肯定的評価は74.2%である。1学期末の割合80.3%から1月74.2%に減少した。	3		特になし	・学級によって定着度にバラつきがあり、全校で意識を統一できるように児童会を中心に呼びかけていく。 ・各学級での清掃指導の徹底をはかるなど、職員の意識を統一していくようにする。		
	◎法規法令の遵守・開かれた学校にします。	○情報を積極的に発信し、開かれた学校づくりを推進する。	・学級・学年・学校便りやホームページによる情報発信を行う。	教務	月1回以上更新し月300回以上のアクセス数	100	87.5	100	100	A	・9月以降のアクセス数は300回を超え、9月は900回を上回ることができた。また、更新も月に2回以上行い、目標は100%達成できた。	3		特になし	・今後も活動記録の更新回数を増やし、保護者のアクセス数増加につなげていく。		
		○適正な加配等の活用と教育課程管理を行う。	・指導方法工夫改善や初任者研修を適切に行う。週案・実績簿・出席簿の適正な記入と整合性を毎週確認。	教務	計画通りに実施(形態・時数・研修内容等)	100	86.7	100	100	A	・時数は15学級のうち14学級が100%確保しており、どの学級も年度末には達成できる。 ・指導方法工夫改善は100%の実施率で、予定通り進んでいる。	3		特になし	・時数不足は、全学年で道徳の1時間のみで、3学期に回復する予定である。 ・今後も計画通り指導方法工夫改善を実施していく。		

【自己評価 評価】

A: 100 ≤ (目標達成) B: 80 ≤ (ほぼ達成) < 100
 C: 60 ≤ (もう少し) < 80 D: (できていない) < 60

【外部評価】

イ: 自己評価は適正である。(人数)
 ロ: 自己評価は適正でない。
 ハ: わからない。